

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福津市	代表者名	原崎 智仁
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0940-43-8197
担当者役職		担当者氏名	
住所	811-3217 福岡県福津市中央		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当初、「こんなに便利!デジタル社会の可能性」という市民講演会のみ予定だったが、職員向けの業務改革の研修会「やらないことを決める 自治体の業務改革」を別途開催した。また、副市長との業務にかかる打ち合わせなども行った。市民講演会では、市民の関心をとらえ、デジタル社会の現状、将来の展望などを説明し、福津市にもシニアによるICTの助け合いコミュニティが必要であると説いた。職員向け研修会では、業務の見直しでやらないことを見つける方法を提示した。副市長との打ち合わせでは、職員のマネジメントについて打ち合わせた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月15日	13時00分	17時00分	0:00	220
3-2. 派遣場所	会場名	福津市役所		最寄駅	福間駅
	所在地	福津市中央1-1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(40名)、一般(60名)等	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市民のICT機器保有率(75%)は高いが、活用を推進する体制づくりが必要である。また、職員については、単純作業はRPAなどに任せ、時間に余裕を作るなど、現状のままにしない必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	活用を推進する体制づくりを目指す。タブレットなどのICT機器を日常的に使うことで、問題解決できる高齢者を増やす。そのために来年度以降に優秀なデジタル活用推進員の確保と育成を併せて行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	市民講演会では、市民の関心をとらえ、デジタル社会の現状、将来の展望などを説明し、福津市にもシニアのICT利活用を互助する集まりが必要であると説いた。職員向け研修会では、業務の見直しでやらないことを見つける方法を提示した。副市長との打ち合わせでは、職員のマネジメントについて打ち合わせた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	市民、職員の地域情報化の気運が高まり、問題意識をもって活動できるようになりうる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回の市民向けワーキング(3日目)では、高齢者等が地域のグループでICTスキルを助け合い、また、コミュニティを作ることができるようにする。	

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>当初の予定であった介護系ワーキング（協議体）でなかったため、参加者数が想定できずアンケートは実施しなかったが、「若者のスマホの使い方に感心した。シニアの生活にもスマホなどデジタルは不可欠と感じた」との感想をいただいた。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	多くの市民が地域情報化の情報に触れ、地域コミュニティのより深い実践を進めるためICT技術を活用する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

